

わ

発行責任者

特定非営利活動法人

相模原市障害児者福祉団体連絡協議会
(通称：NPO法人れんきょう)

会長 鈴木 秀美

相模原市中央区富士見6-1-20 (あじさい会館内)

T E L & F A X 0 4 2 - 7 5 5 - 5 2 8 2 (直 通)

さーくる 障害理解

検索

題 字「わ」 相模原市長 本村 賢太郎

《新年のご挨拶》

「れんきょう」加盟団体会員の皆様、新年おめでとうございます。皆様も明朗な新年を迎えられたことと思います。

今年巳年です。巳年は蛇が冬眠から目を覚まして地上に這い出すことから転じて、冬に根を張った草木が芽を出し実を結ぶようになる縁起の良い年とされています。

この様な巳年の本年が皆様にとって実りの多い豊かな年となりますように願っております。

ここ数年は、新型コロナウイルス感染のため「れんきょう」も活動の制限を受けて来ましたが、一昨年からは感染法上の分類も2類から5類に変更となり、感染対策を実施すれば、ある程度の集団参加も可能となりました。「れんきょう」としても理事会を面会方式で開催して来ましたが、また、各種の行事にも、実際にその場に参加して参りました。

10月と11月にはほかほかふれあいフェスタに参加しました。

今後のれんきょうの活動として新成人を祝う会や講演会の開催、福祉施策懇談会等が予定されています。その節には、感染対策に留意しながら会員皆様の積極的な参加を期待しております。

《令和6年度福祉施策懇談会のご案内》

昨年10月に実施しました障がい者団体の皆様へのアンケートに応じて、多くの団体から市行政に対する要望事項を提出いただきました。

その内容は、「就労」で1項目、「外出・移動」で4項目、「防災」で2項目、「福祉」で16項目、「啓発活動」で2項目、「教育」で1項目の合計26項目となりました。

そして、この要望事項に対して市から回答書をいただき、各団体に事前に配布致します。

この要望事項に関して障がい者団体と市行政が意見を交換する場が福祉施策懇談会です。この福祉施策懇談会は障がい者団体と市行政の方々が直接会って話し合える数少ない貴重な機会です。

本年度の福祉施策懇談会は令和7年3月16日(日)10時からあじさい会館6階の展示室で開催の予定です。

皆様からの質疑・ご意見をいただき、忌憚りの無い意見交換を通じて、障がい者団体と市行政の相互理解を深め、相模原市の福祉施策の向上に繋がることを希望します。この懇談会を意義のあるものとするよう、よろしくお願い申し上げます。

《ほかほかふれあいフェスタ 2024 報告》

ほかほかふれあいフェスタ 2024 は 10 月 12 日にあじさい会館とウェルネスさがみはら前広場を主会場として開催されました。今回は健康フェスタとの合同開催となりました。フェスタは 10 時の式典でスタートしました。6 階の会場ではミニ STT 体験、e スポーツ体験、マッサージ施術等が実施されました。1 階ホールではチアダンス、ヒップホップダンス、よさこいソーラン、手話ダンス等が披露されました。広場では、車いすダンス、バンド演奏、よさこいソーラン、阿波踊りの素晴らしいパフォーマンスに多くの観客から盛んな拍手が送られていました。また、焼きそば、まぜそば、パン、ポップコーン、玉こんにゃくの売店も出て多くのお客様で賑わっていました。「れんきょう」は加盟団体のパネルを展示してその活動内容を紹介しました。

また、ほかほかふれあいフェスタ 2024 障害者週間キャンペーンは 11 月 30 日に相模大野駅北口のサンデッキで開催されました。当日は好天にも恵まれ、参加団体の皆様も気持ち良く演奏したり、ダンスを踊ったりできたことと思います。参加いただいた団体は、相模原障害者とダンスを楽しむ会（車いすダンス）、S.N.D.F（ヒップホップダンス）、ウクレレマイスターズ（バンド演奏）、チョップスティックス（バンド演奏）と一心（よさこいソーラン）の 5 団体です。

通行人の方々も立ち止まって、素晴らしいパフォーマンスに大きな拍手を送ってくれました。また、福祉事業所「のびやか」の売店では手作りの製品を多くのお客様から買っていただけました。

「れんきょう」では加盟団体のパネルを展示するとともに、障がい、福祉関連の資料を、相模原ボランティア協会と若者サポートステーションの皆様と一緒に通行の方々へ手渡し、障害者週間の意義を伝えました。



秋のほかふれ



「障害者週間」キャンペーン

《令和 6 年度つどいの開催報告》

毎年 12 月 3 日から 12 月 9 日は障害者週間に制定されています。この時期に各自治体では、障がいに関する啓発活動を展開します。相模原市でも従来から障がい理解を推進するために「障害者週間のつどい」を開催して来ました。

本年は12月8日にあじさい会館でで開催されました。このイベントの内容は障がいに関する体験を綴った「心の輪を広げる体験作文」と「障害者週間のポスター」の応募作品の中から優秀な作品を表彰するものです。表彰される方々がご家族の皆様とともに出席されました。表彰者一人一人に本村市長から表情と賞品を受け取り大喜びの様子でした。

その後は第二部として映画が上映されました。今回は「星に語りて」という映画でした。2011年の東日本大震災に見舞われた障がい者施設での人々の様子や被災者の方々を支援する多くの団体や自治体職員の活躍を描いた作品です。

この中で障がい者の安否確認をする際に、自治体が保有する障がい者に関わる情報が「個人情報保護法」が壁となり開示されないために検索が進まない状況がありました。しかしながらこの個人情報もその障がい者の利益になる場合には、開示が許されるという内閣府の特例が存在していることが分かり、検索が進展する場面が描かれていたことが印象に残りました。



《令和6年度相模原市障害者作品展開催報告》

令和6年の「障害者作品展」に思う

今年の障害者作品展も障害者週間の12月6日（金）～8日（日）の3日間に渡って相身連三団体を始め、市内の障害関係14団体が、すばらしい作品を出品してくれました。

去年より参加団体が減りましたが、今年は作品を各団体が、川柳・書・絵画・手芸・紙工芸・陶芸・彫刻・編み物など数多く出品してくれましたので、去年の作品数を超えた華やかな個性豊かな作品展になりました。

また、見学者数が過去最高の3日間で1日平均、100人を超える来場者数で3日間合計438名の方々が来場してくれました。神奈川新聞の7日の朝刊に写真入りの障害者作品展の記事が掲載されました。広く市民の皆さんに作品展を知ってもらう機会になってくれたのではないかと思います。これからも相模原市内の障害関係団体と協力して一人一人が思いを込めて制作した作品を皆さんに見学してもらえよう継続してやっていこうと思いました。

相身連会長 小出庄作



《共生社会推進サポーター研修会開催》

民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されたことから、民間事業者向けに、障害者差別解消法改正法に係わる内容の研修会を開催し、受講した民間事業者を「共生社会推進サポーター」として認定して、市内企業への理解促進を図ります。

第1回 令和6年12月23日（月） 展示室1・2にて13：30～16：00

第2回 令和7年2月1日（土） 展示室1・2にて13：30～16：00

《NPO 法人れんきょう 研修会開催案内》

『将来の社会参加に向けて』 ～家庭と地域で何を育てるか～

さまざまな気がかりや診断の周辺にいる子どもたちに、家族として地域の一員として、私たちは、どんなことができるのでしょうか。

相模原市で長らく伴走くださった、篁（タカムラ）一誠先生の大切になさっていた『理解からかわりへ』そのことについて、30数年にわたって共にした、自閉症者の親であり、臨床心理士でもある講師がライフステージにそって、伝えます。

開催日時	令和7年2月26日（水） 10：30～12：30（10：00開場）
会場	相模原市民会館 2階 第2大会議室
講師	角田 みすゞ氏 臨床心理士、公認心理師
参加費	無料

※手話通訳つきます

令和6年度 NPO 法人れんきょう 研修会

『将来の社会参加に向けて』

～家庭と地域で何を育てるか～

さまざまな気がかりや診断の周辺にいる子どもたちに、
家族として地域の一員として、私たちは、どんなことができるのでしょうか。
相模原市で長らく伴走くださった、篁一誠先生の大切になさっていた
『理解からかわりへ』そのことについて、30数年にわたって共にした、
自閉症者の親であり、臨床心理士でもある講師が
ライフステージにそって、伝えます。

令和7年2月26日（水）
相模原市民会館 2階 第2大会議室
10：30～12：30（10：00開場）

講師：角田みすゞ氏

スロフィール

1992年から篁一誠先生の療育指導を受け実践している、35歳の自閉症を来っ子にもつ3人の母。子育て中に働きながら大学と大学院で学び、臨床心理を修め、約17年間福祉系法人で支援者サイドも経験。
現在はこれまでの経験を統合し、コミュニティに恩返りするため、地域を中心にした事業を主催する。 臨床心理士・公認心理士

開催日	令和7年2月26日	主催	NPO 法人れんきょう
会場	相模原市民会館 2階・第2大会議室	後援	相模原市 社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会 社会福祉法人 相模原市社会福祉事業団 相模原市民生委員児童委員協議会 相模原市自治会連合会
時間	10：30～12：30 （10：00開場）		
参加費	無料		認定特定非営利活動法人 相模原ボランティア協会

《やまびこ会作品展開催報告》

第17回相模原やまびこ会の作品展は11月29日～12月1日の3日間、おださがプラザで開催されました。「れんきょう」も後援する一団体としてこの作品展を支援しています。

会場には黒岩神奈川県知事と本村相模原市長の祝辞文や自閉症の特徴や行動パターンを説明するパネル、自閉症児・者の一生を概観し年代ごとの特徴やそれに対応する活動を示すパネルも掲示されました。これらのパネルは多くの方にとって自閉症の理解を深める有効なツールとなっています。

自閉症児者の作品は多岐にわたっていて、絵画、習字、刺繍、写真、粘土細工、課題作品制作（クリスマスケーキ）等多くの作品が展示されました。

例年、多くの方々がこの作品展を楽しみにされて会場に足を運んでいただいています。今回も多くの皆様に作品を鑑賞いただけたものと思います。

また、今年も本村市長に12月1日にご来場いただき、展示品の作者からの説明に熱心に耳を傾けられていました。

この作品展の会場設定や撤去作業に携わられたボランティアの方々、やまびこ会会員の皆様に感謝致します。

《さがみハート展の開催案内》

第16回「さがみハート展」～詩と絵画のコラボレーション展～

令和7年1月10（金）～1月14日（火）

10：00～18：00（初日13：00から 最終日15：00まで）

相模原市民ギャラリー（JR相模原駅ビル セレオ相模原4階）

《全国障害者による書道・写真コンテスト結果報告》

橋本障害者地域支援センターぷらす★かわせみ

岡野邦子さんおめでとう

第39回障害者による書道・写真全国コンテスト書道部門で見事銅賞受賞



表題コンテストに相模原市から今年度書道7点応募いたしました。
全国からは1,026点（書道部門828点、写真198点）の作品が集まり
岡野邦子さんが見事銅賞を受賞されました。

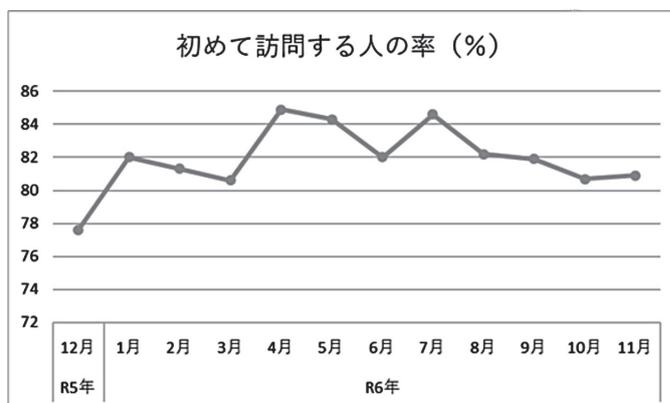
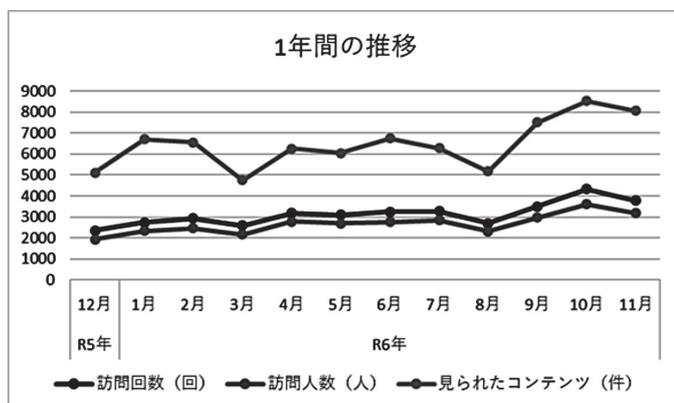
《「さーくる」 アクセス状況報告》

	R5年 12月	R6年 1月	2月	3月	4月	5月
訪問回数 (回)	2363	2742	2936	2577	3181	3093
訪問人数 (人)	1930	2326	2469	2161	2782	2687
見られたコンテンツ (件)	5113	6701	6565	4757	6270	6048
初めて訪問する人の率 (%)	77.6	82	81.3	80.6	84.9	84.3

	6月	7月	8月	9月	10月	11月
訪問回数 (回)	3250	3266	2693	3497	4337	3773
訪問人数 (人)	2753	2842	2307	2963	3603	3175
見られたコンテンツ (件)	6746	6278	5180	7515	8534	8071
初めて訪問する人の率 (%)	82	84.6	82.2	81.9	80.7	80.9

さーくる 障害理解

検索



「さーくる」の1年間の推移です。

《事務局たより》

《れんきょう新事務員の紹介》

令和6年12月4日(水)より新しく、座間正美さんの後任として古屋浩さんが原則として毎週水曜日、木曜日、金曜日の週3回事務所に勤務しております。主にホームページ「さーくる」管理を担当いたします。従来からお世話になっております安部さん共々よろしくお願いいたします。

《令和6年度冬季受託事業販売協力依頼》

毎年恒例の受託販売にご協力をいただきありがとうございます。今年度も11月5日から麵ごころ（化粧箱入り）、麵ごころ（桐箱入り）島原小町（全粒粉ソーメン）の販売を開始いたします。

年2回の売り上げの一部を会運営資金にあてておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

何卒、当協議会の主旨、目的を再度、ご理解いただきまして、格段のご協力の程よろしくお願いいたします。

- ① 麵ごころ（FI-40）化粧箱入り）……………れんきょう販売価格 ¥3,100
- ② 麵ごころ（FI-55）（桐箱入りうどん）……………れんきょう販売価格 ¥4,100
- ③ 島原小町（ES-33）（全粒粉そーめん化粧箱入り）……………れんきょう販売価格 ¥2,800
- ④ ちゃんぽん・皿うどん詰め合わせ（N-1）（箱入り）……………れんきょう販売価格 ¥2,400
（長崎ちゃん麺 100g × 4袋 スープ 4袋 長崎皿うどん麺 60g × 4袋 スープ 4袋）

※販売期間：令和6年11月5日～令和7年1月31日

※販売場所：商品お渡し場所 あじさい会館内4階 NPO法人れんきょう事務所

※販売時間：午前10：00～午後4：00（月曜日～金曜日）

※お問合せ：NPO法人れんきょう事務所まで。電話 042 - 755 - 5282

《新車紹介セールご協力のお願い》

～（株）クライム社様より新車購入紹介セールのお知らせ～

対象車種：乗用車、ライトバン、RV、トラック

対象メーカー：日産、ホンダ、マツダ、三菱、ダイハツ

新車購入の成約前に必ずNPO法人れんきょう事務所まで連絡をお願いいたします。

❖ご協力いただいた方には、協力手数料をお支払いいたします。

詳細はNPO法人れんきょう 042 - 755 - 5282 まで

《ご芳志いただきました》

高橋百利様、（株）クライム エヌシーデー社様、よりご芳志をいただきました

令和7年(2025年)1月10日(金)～1月14日(火)
10:00～17:00(初日13:00より 最終日15:00まで)

第16回 さがみハート展

夢の続き
新しい夢を、つづけて
もう一つ、つづけて
もう一つ、つづけて
そんな夢も続かず
現実に戻される
そして、少し悲しくなって
明日へと続いていく……



詩と絵画のコラボレーション

さがみハート展は、精神障がい者が紡ぎ出した詩を題材に一般画家や中学生等が絵を描き一緒に展示をする展覧会です。この展覧会を通して、障がいを持った方のメッセージや思いが社会に届き、人と人とのつながり、障がいへの理解が広がることを目指しています。

場所 相模原市民ギャラリー 相模原市中央区相模原1-1-3(JR相模原駅ビル セレオ相模原4階)
会期中の式典 相模台クリニックの皆さんによるトークタイム演奏 1月11日(土)14:00～14:30
観覧ご希望の方は、直接会場にお越し下さい

主催 さがみハート実行委員会
後援 相模原市、座間市、相模原市教育委員会、座間市教育委員会、相模原市社会福祉協議会、座間市社会福祉協議会
協力 戸田みどり(日本画家)、おたばこ会、ボルトナット会、ひびき、みどり会(家族会)、四つ葉会、おすなる会、らっく、座間いずみぶどう園、けやきの会、ついで、かわせみ会、湘北福祉会やまのへ、みどり会(絵)、さがみ島形会、みどり会21、七峰会、成慶会、水屋26、墨敷・水屋23、あすなろ、シャロンの会、上津中学校、上津南中学校、小山中学校、就労移行支援事業所FUNs、社会福祉法人かむ
協賛 株式会社ウィップコミュニティ、社会福祉法人上津福祉会、キャリア誠実堂、一般社団法人相友会、相模台クリニック、株式会社南だ約

※相模原市社会福祉協議会 市民福祉活動応援事業助成金活用事業
問い合わせ 地域活動支援センターカミング TEL 042-759-5117 FAX 042-759-5118
南障害者地域活動支援センター(みなみ風) TEL 042-701-3932 FAX 042-701-3918

就労移行支援事業所 FUNs K.Y 作成

視覚障がい者の理解とガイド体験

開催日時: 令和7年 2月2日(日)
14:00～16:30

場所: 緑ボランティアセンター
緑区合同庁舎 2階(緑区西橋本 5-3-21) ☎042(775)1761

対象: 関心のある方どなたでも
内容: 視覚障がい者への接し方と誘導の基本
申込方法: 電話又はメール、(先着15名)
申込期限: 定員にない次第締め切りとなります。

参加費 無料です。

申込み メール ywfjj734@yahoo.co.jp
問合せ先 090-8103-2126 (肥田)

＜講義内容(概略)＞
1.ガイド(誘導)について(10分) 4.弱視メガネ等を着けてガイド体験(20分)
2.当事者からのお話し(50分) 5.ボランティア体験談と話し合い(30分)
3.誘導の基本とDVD視聴(20分) 6.質疑応答、など

主催: 相模原誘導グループ ささの会
後援: 相模原市社会福祉協議会

令和6年度 相模原市社会福祉協議会市民活動応援事業 助成金講座

第1回 【定員300名、先着順】

発達障害のある青年の余暇と居場所の大切さ

2025年2月22日(土) 13時30分～15時30分

講師: 関正樹氏(大塚病院 児童精神科医)
司会: 中内 麻美氏(相模原女子大学/子育て支援センター)

発達障害の人たちの中には、青年期になるとインターネットやゲームの世界に熱中し過ぎるあまり、家族以外の人関係や居場所が少なくなっていくように見えることがあります。青年たちは、なぜインターネットやゲームの世界に熱中するのでしょうか。どうしたら、インターネットやゲーム以外の楽しいことへの興味関心を広げ、現実社会の中で人とのつながりや居場所をつくることができるのでしょうか。「子どもの居場所」の専門家である関先生にお話しいただきます。

申込方法: 相模原女子大学子育て支援センターホームページ上の専用フォームから申し込みください。
https://forms.gle/KCKCSLY9MYZ8BZmp7 (スマートフォンは二次元バーコード利用可)

申込期間: 2024年12月19日(木)～2025年2月18日(火) ※定員に達した時点で締め切ります。

問合せ先: 相模原女子大学子育て支援センター メール kosodateshien@mail2.sagamii-wu.ac.jp
相模原女子大学連携教育推進課 電話 042-813-5038 月～金(祝日除く) 9時～17時

相模原市市制施行70周年記念

さがみはら発達障害啓発WEBセミナー2025

未来地図を描こう～充実した生活のために～

相模原市・相模原女子大学 合同企画

毎年4月2日の「世界自閉症啓発デー」に向けて、発達障害への理解促進を図るためにセミナーを開催しています。

参加費無料

第2回 【定員300名、先着順】

発達障害と共に生きる家族のためのライフプラン

～個性を尊重する社会づくりを目指して～

2025年3月8日(土) 13時30分～15時30分

講師: 平野厚雄氏(一般社団法人 日本自閉症啓発推進委員会 代表理事)
司会: 日戸 由利氏(相模原女子大学/子育て支援センター)

発達障害のある人やご家族が安心して過ごすためには、今からどのような準備が必要でしょうか。社会保険労務士でありながら、(一社)日本自閉症啓発推進委員会の代表理事として、また発達障害の子どもと父親として、講演や執筆など幅広い分野で活動されている平野先生に、お金・健康・コミュニティの視点からライフプランについてお話しいただきます。平野先生と一緒に未来地図を描いてみませんか。

申込方法: LoGo フォームからお申し込みください。
https://logoform.jp/form/oWU/770823 (スマートフォンは二次元バーコード利用可)

申込期間: 2024年12月19日(木)～2025年2月28日(金) ※定員に達した時点で締め切ります。

問合せ先: 相模原市発達障害支援センター 電話 042-756-8411 (直通) 月～金(祝日除く) 8時30分～17時

当セミナーは、第1回・第2回とも、Web会議ツール「Zoom」を使って開催します。インターネット接続やZoomの操作に関するお問合せには対応できませんので、各自で使用方法等をご確認ください。

相模原市市制施行70周年 さがみはら

2024年度 相模原やまびこ会 講演会

発達障害のお子さんの保護者・支援者向け講座

将来のお金の確保と管理の支え

～お金で困らないために、親がまだ元気な間にできること～

本人の年金や親の財産。子どものために有効活用したい。親も子も心豊かに暮らすためにこのような使い方があり、このような渡し方があるというお話をきいてみましょう。講師は自閉症のお子さんのお母さま。これまでどのように実践されてきたかも参考に、金銭管理の見直しのチャンスです。

講師 佐藤 加根子氏
令和7年1月24日(金曜日)
相模原市民会館 3階 第1大会議室

- 受付 10:00～
- 講演 10:30～12:30 終了
- 参加費 無料
- 定員 100名 *事前申し込み優先。(満席の場合はご入場をお断りする場合があります)
- 会場 相模原市民会館(相模原市中央区中央3-13-15) 3階 第1大会議室
*会場へのお問い合わせはご遠慮ください。
- 申し込み メールまたはFAXでお申し込みください。(詳細は裏面)
- アドレス sagamihara.yamabiko@gmail.com
(★を@に変更して送信してください)

主催: 相模原市自閉症児・者親の会(相模原やまびこ会)

後援: 相模原市 相模原市教育委員会 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 社会福祉法人相模原市社会福祉事業団 相模原市民生委員児童委員協議会 NPO法人れんきょう 社会福祉法人団の谷・やまびこ工房 助成 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会

申し込み: メールまたはFAXでお申し込みください。(詳細は裏面)

※QRコードからもお申込みいただけます。